

広げよう

「清流の国ぎふオレンジリボン運動」の輪

清流の国ぎふ
マスコットキャラクター
ミナモ

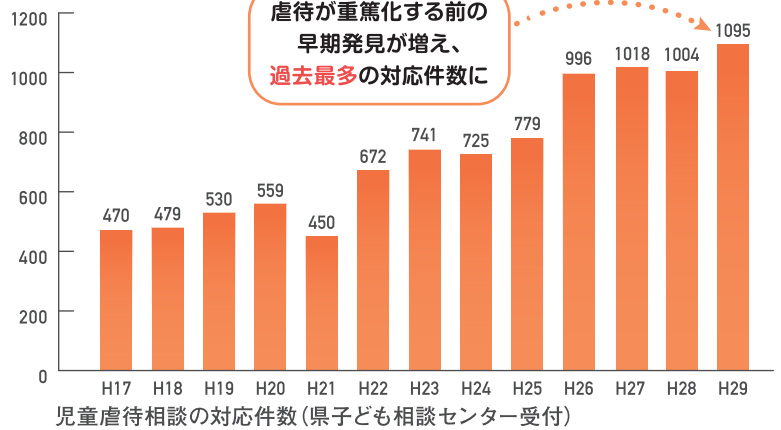


清流の国ぎふ ミナモ通信

子どもたちの笑顔が輝く岐阜県へ

虐待により、子どもの命が奪われる悲しい事件が後を絶ちません。岐阜県でも児童虐待の相談対応件数は、年々増加傾向にあります。「清流の国ぎふオレンジリボン運動」は、この問題への理解を深め、子どもたちの健やかな成長を願い、行動することを県民の皆さんに呼びかける運動です。虐待の未然防止や早期発見には、県民の皆さん一人ひとりの理解が欠かせません。子育て家庭を温かく見守るとともに、虐待防止に向けた取り組みをすすめるため、「清流の国ぎふオレンジリボン運動」へのご協力をお願いします。

■問/県庁子ども家庭課 ☎058(272)8325



11月は「児童虐待防止推進月間」です

「清流の国ぎふオレンジリボン運動」を展開中

岐阜県では11月の「児童虐待防止推進月間」を中心に、「清流の国ぎふオレンジリボン運動」を展開しています。児童虐待を防止するメッセージが込められたオレンジリボンをたすきに見立て、県内をつなぐ「岐阜オレンジリボンたすきリレー」や、FC岐阜とのコラボレーション、街頭啓発活動など、県民の皆さんに理解を深めていただく行事を予定しています。

このほか、講演会も開催しますので、ぜひご参加ください。



左/昨年のシンポジウム
右/FC岐阜ホームゲームでの啓発活動の様子

地域で子どもを育てるネットワークを!



岐阜聖徳学園大学短期大学部
幼児教育学科 児玉俊郎准教授

虐待を未然に防ぐためには、誰にも相談できず、孤立している保護者をサポートすることが大切です。そのためには、悩みを相談できるコミュニティが必要で、地域の力が欠かせません。普段から地域であいさつや、声掛けをしあう関係づくりを心掛けてください。いざというとき、お互いの顔が浮かぶ地域づくりができるといいですね。また、地域ぐるみで子どもを育てるという意識を高めることができるといいですね。

今後開催するイベント情報

児童虐待防止講演会

- とき** 11月13日(火) 13:00~15:00
- テーマ** 「子ども虐待をめぐる心理 ~虐待する親と虐待された子ども~」
講師:山梨県立大学 西澤哲教授
- ところ** ぎふ清流文化プラザ長良川ホール
- 定員** 300人(先着順) **申込方法** 郵送、FAX、メール
- 申込先・問** 〒500-8833 岐阜市神田町1-8-4ブラドビル 株式会社ブラド内
「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止講演会」参加募集係
☎058(264)1173(受付 平日9:30~17:30) FAX 058(266)6300
✉seiryu_orange@prad.co.jp



「これって虐待?」「子育ての悩みを相談したい」と思ったら

児童相談所全国共通ダイヤル (24時間受付)

1

いち

8

はや

9

<

番へ

下記子ども相談センターでも受け付けています

- 中央子ども相談センター ☎058(273)1125
※11月26日(月)以降(予定) ☎058(213)0189
- 西濃子ども相談センター ☎0584(78)4866
- 中濃子ども相談センター ☎0574(25)3350
- 東濃子ども相談センター ☎0572(23)1226
- 飛騨子ども相談センター ☎0577(32)0611